

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。また、今後、研究資料を研究組織以外の第三者に提供する場合には、資料の提供について改めて臨床研究審査委員会の承認を必要とします。

【研究課題名】

新型コロナウイルス感染症入院患者の身体機能および日常生活動作能力に関する後ろ向き観察研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、新型コロナウイルス感染症にて入院し、リハビリテーションを施行した方々の身体機能と日常生活動作能力について解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2020年1月16日 から 2022年3月31日 までの間に、当院のリハビリテーションセンターで新型コロナウイルス感染症についてのリハビリテーションを受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2027年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

年齢、性別、診断名、身長、体重、肥満度（Body mass index）、既往・併存疾患、入院前フレイルの状況、入院前日常生活動作能力、新型コロナウイルス感染症の陽性日・重症度、病態の重症度（APACHE II、SOFA）、入院日、退院日、前医入院の有無、転帰、人工呼吸器装着・ECMO使用の有無、治療内容、血液検査・画像診断結果、せん妄発症の有無、栄養状態、リハビリテーション開始日・終了日・実施単位数・実施日数・内容、四肢筋力（Medical Research Council sum score）、日常生活動作能力（Barthel index、Functional status score for the ICU）、身体活動度（集中治療室活動度スケール）

試料：該当なし

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6463）

研究責任者・問い合わせ担当者 リハビリテーション技術科 市川 毅